

2026年度

学生募集要項

私費外国人留学生選抜

尾道市立大学

- ◆経済情報学部 経済情報学科
- ◆芸術文化学部 日本文学科
- ◆芸術文化学部 美術学科

【 目次 】

I 募 集 人 員.....	- 1 -
II 出 願 資 格.....	- 1 -
III 出 願 手 続.....	- 2 -
IV 入学者選抜方法等.....	- 5 -
V 試 験 会 場.....	- 6 -
VI 受験上の注意.....	- 6 -
VII 不正行為.....	- 7 -
VIII 合格発表.....	- 8 -
IX 入 学 手 続.....	- 8 -
X 諸経費その他.....	- 10 -
X I 留 意 事 項.....	- 10 -
X II 尾道市立大学へのアクセス.....	- 11 -
入学者の受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）	- 12 -

I 募 集 人 員

学 部	学 科	募集人員
経済情報学部	経済情報学科	若 干 名
芸術文化学部	日 本 文 学 科	若 干 名
	美 術 学 科	若 干 名

II 出 願 資 格

次の各項の全てに該当する必要があります。(全学部学科共通)

(1) 日本の国籍を有しない者で、「出入国管理及び難民認定法」において、大学入学に支障のない在留資格を有する者

(2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者(昭和56年文部省告示第153号)

2026年3月31日までに18歳に達する者で、次のいずれかに該当する者を含む

- ① 国際バカロレア資格(国際バカロレア事務局)、アビトゥア資格(ドイツ)、バカロレア資格(フランス)、GCEA レベル資格(イギリス)又は国際Aレベル資格、ヨーロッパ・バカロレア資格のいずれかを有する者
- ② 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、NEASC、CIS、Cognia、COBIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者
- ③ 日本において、文部科学大臣が指定するインターナショナルスクールの課程を修了した者(当該課程が12年未満の課程の場合、さらに指定された準備教育課程の修了が必要)
- ④ 外国における12年の課程修了相当の学力試験に合格した者(当該課程が12年未満の課程の場合、さらに指定された準備教育課程での修了が必要)

(3) 独立行政法人日本学生支援機構が2025年6月15日(日)および11月9日(日)に実施する「2025年度(令和7年度)日本留学試験」の両方またはどちらかを受験した者

日本留学試験の指定科目(出題言語:日本語)

学 科	教科・科目等
経済情報学科	日本語、総合科目、数学
日 本 文 学 科	日本語
美 術 学 科	日本語、総合科目

Ⅲ 出 願 手 続

インターネット出願で受け付けます。

出願は、本学ホームページ (<https://www.onomichi-u.ac.jp/>) から

- ① 右側サイドメニュー「インターネット出願」より専用サイトにて出願登録
- ② 入学検定料の支払い
- ③ 出願書類を締切日までに郵送することにより完了します。登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願手続き完了とはなりません。出願書類の印刷及び郵送による提出が必要です。

***インターネット出願では、出願登録の際にメールアドレス（フリーメールのアドレスも可）と志願者本人の写真データが必要です。**

1 出願期間

インターネット出願の登録期間	2026年1月5日（月）～1月14日（水）の15：30まで
入学検定料支払期限	出願登録翌日の23：59まで ただし、1月13日（火）、1月14日（水）に出願登録した者は1月14日（水）の16：00まで
インターネット出願登録後の 出願書類提出期間	2026年1月5日（月）～1月14日（水）（消印有効）

* 出願登録後に内容を修正する場合は、入学検定料の支払を行わず、再度はじめてから登録をやり直してください。

2 インターネット出願サイトへのアクセス

本学ホームページ (<https://www.onomichi-u.ac.jp/>) 上で、「インターネット出願」をクリックしてアクセスしてください。

3 出願方法

- ① 3頁「5 インターネット出願の利用手順」の記載を確認し、インターネット出願サイトから出願登録及び入学検定料（9,000円）の支払いを行い、出願してください。
なお、インターネットから出願登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願手続き完了となりません。出願書類の印刷及び郵送による提出が必要です。
- ② インターネット出願登録時に、スマートフォンやデジタルカメラ等で撮影した志願者本人の写真データ（JPEG形式かつ100KB以上3MB以内）をアップロードにより提出してください。
※ 写真データは、出願前3か月以内に撮影したもので、正面上半身（胸から上）、無帽、無背景とし、志願者本人の顔が明確に確認できるものを提出してください。
- ③ インターネット出願登録及び入学者検定料の支払いが完了後、出願書類送付用封筒（角形2号（24cm×33.2cm））を用意し、「封筒貼付用宛名シート」を印刷して封筒の表側に貼ってください。
※ 事情により「封筒貼付用宛名シート」が出力できない場合は「4 出願書類提出先」へ「インターネット出願書類在中」と朱書してください。
- ④ 出願書類の提出は、「簡易書留速達」扱いの郵送、または、直接持参により提出してください。
直接持参の場合の受付時間は平日の9：00から17：00までとします。
- ⑤ 志願者本人がインターネットの利用環境を持たない場合は、保護者等の所有する端末を用いる、又は図書館等の公共施設のパソコンのインターネット環境を利用する等でも出願が可能です。

4 出願書類提出先

〒722-8506 広島県尾道市久山田町1600番地2

尾道市立大学 入学試験実施本部

TEL (0848) 22-8311 (代表)

(0848) 22-8381 (直通)

5 インターネット出願の利用手順

① インターネット出願サイトへアクセス

本学ホームページ(<https://www.onomichi-u.ac.jp/>)上で、右側サイドメニューより「インターネット出願」をクリックしてPost@netにログインしてください。(Post@netに初めてアクセスする場合は「新規登録」ボタンからアカウントを作成してください。)

② インターネット出願登録

- ・ 学校一覧から本学を選択し「はじめに」をクリックして出願の手順や注意事項を必ず確認してください。
- ・ メニューの「出願登録」ボタンから、個人情報等の登録及び志願者本人の写真データ(JPEG形式かつ100KB以上3MB以内)のアップロードによる提出を行ってください。

※ 出願登録の際にメールアドレスが必要です(フリーメールのアドレス利用可)。登録されたメールアドレスは、出願登録完了の通知や入金完了の通知に使用します。
受信設定においてドメイン指定をしている場合は、(@onomichi-u.ac.jpおよび@postanet.jp)のメールを受信できるよう設定してください。

※ 出願登録後に内容を修正する場合は、入学検定料の支払いを行わず、再度はじめてから登録をやり直してください。(支払いを行わなかった場合は、一定期間経過後、自動的にキャンセルとなります。)

③ 入学検定料(9,000円)の支払

コンビニ、クレジットカード、金融機関ATM(Pay-easy)の決済方法が選択できます。

支払手数料は入学検定料に含まれます。

④ 登録完了・出願書類の印刷

Post@netにログインし出願内容一覧から本学を選択しメニューの「出願内容を確認」ボタンから、「入学志願票」、「封筒貼付用宛名シート」を印刷(A4・片面)してください。

⑤ 書類の提出準備

- ・ 提出が必要な出願書類(履歴書)を準備してください。
- ・ 角形2号封筒(24cm×33.2cm)を準備し、印刷した「封筒貼付用宛名シート」を貼ってください。

※ 4頁の「6 インターネット出願登録後に提出が必要な書類」の記載を確認してください。

⑥ 書類の提出

⑤で準備した書類を「封筒貼付用宛名シート」を貼付した角形2号封筒(24cm×33.2cm)に入れ、簡易書留速達郵便により提出してください。

※ 2頁の「3 出願方法」及び4頁の「6 インターネット出願登録後に提出が必要な書類」の記載を確認し、出願書類の提出を行ってください。

入学検定料の支払い後は、登録内容の修正はできません。ただし、「氏名」、「生年月日」、「住所」等を修正する必要がある場合は、「封筒貼付用宛名シート」の「【出願書類の郵送の前に確認してください】」の内容を確認してください。

6 インターネット出願登録後に提出が必要な書類

① 入 学 志 願 票	入学検定料の支払完了後に届く「インターネット出願支払完了」メールに記載のURLもしくは Post@net にログインし出願内容一覧から本学を選択しメニューの「出願内容を確認」ボタンのいずれかにアクセスして、サイズの拡大・縮小はせずにA4サイズで印刷してください。
② 履 歴 書	本学所定の用紙（様式第2号）に記入し、提出してください。
③ 修了(見込み)証明書 および成績証明書	外国において学校教育における12年の課程を修了または、修了見込みの者については、出身学校（日本の高等学校に相当する学校）の修了（見込み）証明書および成績証明書（写しは不可）。 また、上記に準ずる者として文部科学大臣の指定した者については、資格を証明するもの（写し）および成績を証明するもの（写し）。 ※ 必ず日本語訳を添付してください。
④ 日 本 留 学 試 験 の成績確認書	2025年度（令和7年度）日本留学試験（6月実施・11月実施のどちらか）の成績確認書。
⑤ 住 民 票 の 写 し 等	日本に在住する者は、市区町村発行の「住民票の写し」（在留資格、在留期間明記のもの）を、それ以外の者は旅券の写しを提出してください。 ※ 「住民票の写し」は交付された原本を提出してください。

提出書類に虚偽の記載があった場合には、受験できません。

7 受験票のダウンロード

出願手続完了後、登録されたメールアドレスに送信される「【尾道市立大学】デジタル受験票配信のお知らせ」メール記載のURL、もしくは Post@net にログインし出願内容一覧から本学を選択しメニューの「出願内容を確認」ボタンのいずれかにアクセスして、ダウンロードした受験票を印刷の上、試験当日に必ず持参してください。

8 インターネット出願に関する注意事項

- ① 2つ以上の学科の併願はできません。また出願後の志望学科の変更はできません。
- ② 出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。
- ③ いったん提出された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ いったん出願手続が完了した者の入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑤ 入学出願書類や入学手続に関して本学が知り得た個人情報および入学試験の成績や結果に関する個人情報は、「尾道市立大学における個人情報の取扱い及び管理に関する規程」に基づき適正な管理を行います。これらの個人情報は、入学者選抜業務のほか教育的な目的や学生生活に関連して利用する場合があります。

9 障害等のある入学志願者との事前相談

病気・負傷や障害等により受験上の配慮を希望する場合は、尾道市立大学入学試験実施本部へ相談してください。

事前相談の期限 2025年12月5日（金）

なお、相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、出来るだけ早い時期に相談してください。本学ホームページに詳細を掲載しています。

(<https://www.onomichi-u.ac.jp/guidance/syougaisyasien.html>)

10 受験時の宿泊

受験時の宿泊については、各自で手配してください。

IV 入学者選抜方法等

【 経済情報学部 経済情報学科 】

(1) 選抜方法

本学会場にて小論文・面接を実施します。

書類審査・小論文・面接の結果および2025年度（令和7年度）日本留学試験の成績を総合して選抜します。

(2) 試験内容および試験日時

2026年2月25日（水） [9:00までに入室]

9:20 - 10:30	小論文
10:50 -	面接

【 芸術文化学部 日本文学科 】

(1) 選抜方法

本学会場にて小論文・面接を実施します。

書類審査・小論文・面接の結果および2025年度（令和7年度）日本留学試験の成績を総合して選抜します。

(2) 試験内容および試験日時

2026年2月25日（水） [9:00までに入室]

9:20 - 10:30	小論文
10:50 -	面接

【 芸術文化学部 美術学科 】

(1) 選抜方法

本学会場にて実技検査・小論文・面接を実施します。

書類審査・実技検査・小論文・面接の結果および2025年度（令和7年度）日本留学試験の成績を総合して選抜します。

(2) 試験内容および試験日時

① 小論文および面接

2026年2月25日(水) [9:00までに入室]

8:45 - 9:00	持参作品の提出(5点まで)
9:20 - 10:30	小論文
10:50 -	面接

自作の作品を持参してください。

＊ 持参作品は平面作品または立体作品とし、表現方法・素材は自由で、本人が制作した作品に限ります。

＊ 作品は、本人が1人で持ち運びできる大きさに限ります。それ以外の大きさの作品は、写真ファイル等にして持参してください。

＊ 大学への作品の送付はできません。

② 実技検査

2026年2月26日(木) [8:30までに集合]

9:00 - 12:00	デッサン
13:00 - 16:00	

＊ 出願時に鉛筆デッサン・木炭デッサンのいずれかを選択してください。

＊ 選択に応じて以下のものを持参してください。

鉛筆デッサン選択者	木炭デッサン選択者
鉛筆デッサン用具一式 フィクサチーフ(定着液)	木炭デッサン用具一式 フィクサチーフ(定着液)

V 試験会場

尾道市立大学(案内図は11頁にあります)

VI 受験上の注意

(1) 小論文・面接に関して

- ① 試験当日は、必ず受験票を持参してください。忘れた場合は、速やかに試験場本部で受験票の再交付を受けてください。なお、受験票は入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- ② 9:00までに指定された試験室に入室し、着席してください。
- ③ 小論文試験開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、時間の延長は行いません。
- ④ 小論文試験中、受験票のほかに机の上に置けるものは、次のとおりです。試験中にこれら以外の所持品を使用または机の上に置いている場合は、不正行為の有無を確認するために解答の一時中断を指示します。
 - ・筆記用具(黒の鉛筆またはシャープペンシル)
 - ・プラスチック製の消しゴム
 - ・鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。)

- ・時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可。）
 - ・眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）
- ⑤ 小論文試験中、次のものを使用してはいけません。これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすると不正行為となります。
- ・定規（定規の機能を備えた鉛筆を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
 - ・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、イヤホン、電子辞書、ＩＣレコーダー等の電子機器
- ⑥ 試験時間中、病気・負傷や障害等により机の上に置けるもの以外のものを使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。詳しくは５頁９をご参照ください。
- ⑦ 面接予定時刻等、面接に関することは、小論文試験の開始前に連絡します。
- ⑧ 試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、上着など暖かい服装を持参してください。

（２）実技検査に関して（２月２６日（木））

- ① 試験当日は、**必ず受験票を持参してください**。忘れた場合は、速やかに試験場本部で受験票の再交付を受けてください。なお、受験票は入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- ② ８：３０までに指定された集合場所に集まってください。集合時刻に間に合わなかった場合は、試験会場にいる係員の指示に従ってください。
- ③ 実技検査開始後は、１２：００までの遅刻に限り、受験を認めます。ただし、試験時間の延長は行いません。
- ④ 実技検査中（９：００～１６：００、昼食時を含む）は携帯電話の使用を禁止します。
- ⑤ 休憩時間中に学外に出ることはできませんので、**必ず昼食を持参してください**。
- ⑥ 実技検査の作品は返還しません。

Ⅶ 不正行為

- １ 次のことをすると不正行為となり、受験者は入学試験において失格となります。状況によっては大学から警察に被害届を提出します。
- （１）志願票や受験票、解答用紙に故意に虚偽の情報を登録・記入すること。
 - （２）カンニング（試験の教科・科目に関するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
 - （３）他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをすること。
 - （４）配付された問題用紙を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - （５）解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - （６）「解答はじめ」の指示の前に、問題用紙を開いたり、解答を始めること。
 - （７）試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、イヤホン、電子辞書、

ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。

- (8)「解答やめ。筆記用具を置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴム等の筆記用具を持っていたり、解答を続けること。

2 前項1以外にも、次のことをすると不正行為になることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取り扱いは、1と同様です。

- (1) 携帯電話等の電子機器類や許可された筆記具以外のものをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- (2) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- (3) 面接において、試験前に、すでに試験が終了した他の受験者から試験に関する内容を教えてもらうこと。
- (4) 面接において、試験後に、これから試験を受ける他の受験者に試験に関する内容を教えること。
- (5) 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- (6) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (7) 試験場において監督者の指示に従わないこと。
- (8) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

VIII 合 格 発 表

1 発表日時

2026年3月5日（木） 10:00

2 発表方法

- ① 尾道市立大学の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。本学ホームページ (<https://www.onomichi-u.ac.jp/>) による合格発表も行いますが、あくまで補助的な手段です。大学が郵送する合格通知書で必ず確認してください。
- ② 電話による可否の問い合わせには、一切応じません。

IX 入 学 手 続

1 入学手続期間

2026年3月6日（金）～2026年3月13日（金）17:00まで（必着）

2 入学手続方法

- ① 合格通知書とともに送付する「入学手続要領」の説明を参照してください。
- ② 手続き期間内に入学手続書類の提出と入学料の納入が行われることで、入学手続の完了とします。
- ③ 納付金は合格通知書とともに送付する納付書に必要事項を記入し、手続期間内に最寄りの金融機関の窓口で振り込んでください。

④ 書類の提出は、郵送または直接持参によって行ってください。なお、直接持参の場合の受付時間は平日の9:00から17:00までとします。

⑤ 入学手続先

〒 722-8506 広島県尾道市久山田町1600番地2

尾道市立大学 入学試験実施本部

TEL (0848) 22-8311 (代表)

(0848) 22-8381 (直通)

⑥ 入学手続を完了した者には、入学手続期間終了後に、入学許可書を送付します。

3 入学手続時納付金

入学料 211,500円

入学料は、本学所定の金額の $\frac{1}{2}$ に減額されています。
前年度の金額です。
納入時の振込手数料はご負担ください。

4 提出書類

① 宣誓書・誓約書

② 修了証明書（外国において学校教育における12年の課程を修了見込みで受験した者（出願時に提出した者は再度提出する必要はありません）。ただし、入学手続期間内に発行が求められない場合は、2026年3月23日（月）までに提出してください。）

5 入学手続上の注意点

① 必要な手続を期間内に行わない場合には、本学への入学を辞退したものととして取扱います。

② いったん受理した入学手続書類および振り込まれた納付金は、いかなる理由があっても返還しません。

③ 入学手続を完了した後入学を辞退する者は、入学辞退届（様式自由、辞退理由と作成年月日を明記の上、自署のこと）を尾道市立大学入学試験実施本部へ提出してください。

* 入学手続後、提出書類に虚偽の記載が判明した場合は、入学を取り消します。

X 諸経費その他

1 入学後に必要となる経費

項 目	金 額	備 考
①授 業 料	267,900円 [年 額]	4月、10月に分けて納入
②学生教育研究災害傷害保険料	4,660円 [4 年 分]	4月に納入
③後 援 会 入 会 金	5,000円	4月に納入
④後 援 会 費	25,000円 [年 額]	
⑤学 友 会 入 会 金	1,000円	
⑥学 友 会 費	7,000円 [年 額]	

* 授業料・後援会入会金・後援会費は、本学所定の金額の $\frac{1}{2}$ に減額されています。

* 上記は前年度の金額です。

* 美術学科はこの他に、初年度実習費として7万円、3年次に古美術研究旅行費として20～40万円程度が必要になります。

* 経済情報学科、日本文学科では、ノート型パソコンが必携となります。詳細は入学前にお知らせしますが、場合によっては新たに購入する必要があります。
(前年度大学幹旋ノート型パソコンは14万円程度)

* 入学までにスマートフォン（OSアップデート可能なもの）を準備してください。

* 納入時の振込手数料はご負担ください。

2 奨 学 金

留学生を対象とした各種団体の奨学金制度があります。

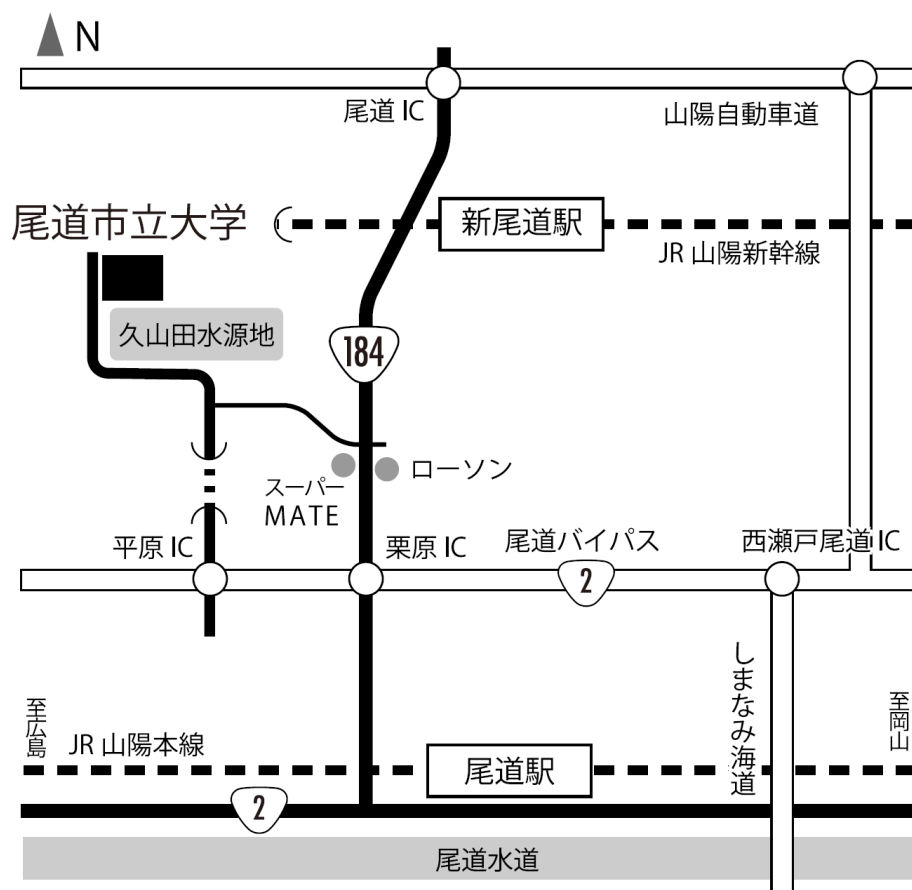
3 下 宿 等

本学が運営している学生寮はありません。民間経営の寮・アパート等の資料を11月下旬より本学に準備しています。

X I 留 意 事 項

本学では、すべての学部・学科で英語を必修科目としています。この科目の履修のためには、日本の高等学校卒業程度の英語力が必要です。

X II 尾道市立大学へのアクセス



尾道市立大学への交通

J R 山陽本線 尾道駅より

駅前バスターミナル（③番のりば）より「尾道市立大学」または「陽光台」行きバスで約 20 ～ 40 分、「尾道市立大学」下車。

J R 山陽新幹線 新尾道駅より

南口（③番のりば）より「尾道市立大学」または「陽光台」行きバスで約 15 分、「尾道市立大学」下車。

タクシー利用で約 10 分。

自家用車で送迎の場合、尾道バイパス・平原 I C 経由が便利です。

試験当日には、両駅からバスの臨時便（直行便）を運行します。

運行予定時刻表等の詳細は 2026 年 2 月中旬ごろに本学ホームページ

[\(https://www.onomichi-u.ac.jp/\)](https://www.onomichi-u.ac.jp/) へ掲載します。

入学者の受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

全学

教育の理念・目的と求める学生像

尾道市立大学の教育は、専門の学芸と幅広い教養を身につけ、知的能力および豊かな人間性を発揮できる人材を育成すること、また、地域社会との連携・交流を重視し、広く地域に開かれた大学として芸術文化の向上と産業の活性化に貢献できる人材を養成することを目的としています。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けることのできる者として、次のような人の入学を受け入れます。

（知識・技能）（思考力・判断力・表現力）

- ・ 学問や芸術を学ぶことを通じて、豊かな心と幅広い視野を持ちたいと願う人
- ・ 知と美に対する探究心と創造意欲のある人
- ・ 専門的知識・技能を身につけ、地域社会や国際社会に貢献したい人

（主体性・多様性・協働性）

- ・ 何事にも好奇心をもって積極的に挑戦し、自己の目標に向かって不断の努力をする人
- ・ 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ人

各学部・学科では、これらに関連する入学前の能力や適性について、それぞれのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーをふまえ、多面的・総合的に評価し、入学者の選抜を行います。

全学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

詳細は[こちら](#)からご覧ください。



経済情報学科の入学者の受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

教育の理念・目的と求める学生像

経済情報学科は、経済、経営、そして情報の3分野を併せて学ぶことを特長としています。基礎的理論と実践的・応用的知識を兼ね備え、主体性をもって自ら問題を設定し解決することで、現代社会のニーズに応えられる人材、社会貢献や地域貢献ができる人材の育成を目指しています。

このような教育理念・目的に基づき、経済情報学科は次のような人を求めています。

- ・日常生活の経済現象に関する基礎的な考え方や理論を理解し、各種資料や経済統計を活用して実際の経済を分析し、経済問題を世界的観点から考えて責任ある選択・意思決定ができるようになりたい人
- ・経済社会を支える企業活動の現実を直視し、企業経営に関する理論や分析手法を幅広く学んだうえで、その成果を組織の仕組みの改善に活かしたい人
- ・現代社会の基盤となっている情報システムやネットワークの基本原則を学び、社会問題の解決や日常生活の利便性の向上に意欲のある人

入学後の学びに必要な能力や適性等

経済情報学科の教育課程に適応するために必要な入学時の能力や適性等は、以下の通りです。

（知識・技能）

- ①人間・社会・自然に対する深い理解、経済・経営・情報3分野の基礎的な知識の修得につながる「高等学校等で学ぶ幅広い教科・科目の基礎的な知識・技能」

（思考力・判断力・表現力）

- ②問題分析力・解決力・情報収集力やコミュニケーション力につながる

②-a. 「高等学校等で学ぶ幅広い教科・科目の基礎的な知識・技能をふまえた思考力・判断力」

②-b. 「数学的思考力」または「英語の読解力と表現力」

②-c. 「専門分野（経済・経営・情報）に関する文章の読解力と自らの考えを論理的にまとめる表現力」

（主体性・多様性・協働性）

- ③実社会における実践や問題解決力につながる「責任ある選択・意思決定、組織の仕組みの改善、社会問題の解決や日常生活の利便性の向上に向けて行動しようとする意欲」

【経済情報学科】

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

詳細は [こちら](#) からご覧ください。



入学後の学びに必要な能力や適性等と入学者選抜における評価との対応

学力の3要素				知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体性・多様性・協働性
入学後の学びに必要な能力や適性等				①	②-a	②-b	②-c	③
入試区分、 検査等の内容（配点）	学校推薦型選抜	一般推薦	調査書「全体の学習成績の状況」（出願要件）	○	○			
			基礎学力検査（英語）（50点）			○		
			小論文（50点）		○		○	
			面接（40点）		○			○
			調査書「数学」または「英語」の学習成績の状況（5点）		○	○		
			資格取得・検定等（25点）					○
		特別推薦A、B	調査書「全体の学習成績の状況」（出願要件）	○	○			
			小論文（100点）		○		○	
			面接（40点）		○			○
			調査書「数学」または「英語」の学習成績の状況（5点）		○	○		
			資格取得・検定等（25点）					○
	一般選抜	前期	共通テスト（700点）	○	○			
			教科・科目に係る個別テスト（数学、英語）（300点）		○	○	○	
			調査書「数学」または「英語」の学習成績の状況（50点）		○	○		
			資格取得・検定等（25点）					○
		後期A、B	共通テスト（400点）	○	○			
			教科・科目に係る個別テスト（数学または英語）（100点）		○	○	○	
			調査書「数学」または「英語」の学習成績の状況（25点）		○	○		
			資格取得・検定等（25点）					○
		留学生選抜 私費外国人	外国において、学校教育における12年の課程を修了またはこれに準ずるもの（出願要件）		○	○		
			日本留学試験（日本語、総合科目、数学）（50点）	○				
			日本留学試験（日本語（記述））（10点）		○	○		
			小論文（50点）		○		○	
			面接（50点）		○		○	○

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

入学までに「基礎学力である高等学校等で学ぶ幅広い教科・科目の知識・技能」を身につけていることが必要です。特に、問題分析力につながる「基礎的な数学力」や、情報収集やコミュニケーションにつながる「英語力」を身につけていることを重視しています。また、経済・経営・情報への関心を持っていることを評価しています。そのため、これらの話題について日頃から調べたり、関連する資格取得・検定に挑戦したりしていることなどが望まれます。

日本文学科の入学者の受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

教育の理念・目的と求める学生像

日本文学科では、豊かな人間性と幅広い視野、高度な言語運用能力をもとに諸共同体のリーダー・教育者・創作者等として主体的に社会に貢献できる人の育成を目指しています。自らの力でテキストの精読や実地調査に基づく分析を行い、他者との議論や対話を通して言語文化の探究と創造に取り組む活動に重点をおいた教育を展開します。

このような教育理念・目的に基づき、日本文学科は次のような人を求めています。

- ・高等学校等までの教育課程において確かな国語の力を身につけた人
- ・問いをもって対象に向き合い、論理的に思考し判断する力を鍛えてきた人
- ・知的探究心をもって日本語・日本文学を深く研究していく意欲がある人
- ・文学作品のもつ多様な価値観を柔軟に受け止められる人
- ・読解力・表現力・対話力を活用して協働的に社会に参画する意欲がある人

入学後の学びに必要な能力や適性等

日本文学科の教育課程に適応するために必要な入学時の能力や適性等は以下の通りです。

（知識・技能）

- ①日本語・日本文学・中国文学・欧米文学に関する基本的な知識と研究方法の修得のために、高等学校等までの教育課程において確かな国語の力を身につける必要があります。
- ②周辺領域の考え方や理論と関連付けながら、日本語と日本文学を中心とする学修の拡充と深化を図るために、高等学校等までに学ぶ幅広い教科・科目の知識と技能が必要です。

（思考力・判断力・表現力）

- ③テキストの精読や実地調査を行い、論点を定めた分析や表現の探究に取り組むために、高等学校等までの学習において、論理的・創造的に考える力や他者との関わりの中で伝え合う力、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力が必要です。

（主体性・多様性・協働性）

- ④著名な文学作品を読み、作品のもつ多様な価値観を柔軟に受け止める力が必要です。
- ⑤日本語・日本文学を深く研究していくためにことばや文学、文化への知的探究心が必要です。
- ⑥他者との議論や対話を通して協働的に学ぶ力が必要です。

【日本文学科】

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）
教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

詳細は[こちら](#)からご覧ください。



入学後の学びに必要な能力や適性等と入学者選抜における評価との対応

学力の3要素				知識・技能		思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性		
入学後の学びに必要な能力や適性等				①	②	③	④	⑤	⑥
入試区分、 検査等の内容 (配点)	学校推薦型選抜	一般推薦	調査書「全体の学習成績の状況」(出願要件)		○	○			
			小論文(50点)			○			
			口頭試問	} (40点)		○	○	○	
			学修調査書(学びの履歴と計画)			○	○	○	
			調査書「国語」の学習成績の状況(10点)	○		○	○	○	○
	一般選抜	前期	共通テスト(500点)		○	○			
			教科・科目に係る個別テスト(国語)(200点)	○		○			
			調査書「国語」の学習成績の状況(10点)	○		○	○	○	○
			高等学校入学以降の主体的な取り組み(10点)				○	○	○
		後期	共通テスト(500点)		○	○			
			教科・科目に係る個別テスト(国語)(200点)	○		○			
			調査書「国語」の学習成績の状況(10点)	○		○	○	○	○
			高等学校入学以降の主体的な取り組み(10点)				○	○	○
		留学生選抜 私費外国人	外国において、学校教育における12年の課程を修了またはこれに準ずる者(出願要件)		○	○			
			日本留学試験(日本語)(50点)	○					
			小論文(60点)			○			
面接(40点)				○	○	○	○		

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

- ・「国語」において読む、書く、聞く、話す能力を養い、自分の考えを的確に表現できる文章力やコミュニケーション力を身につけてください。
- ・古典の学習を充分に行い、古典に関する基本的な知識や教養を身につけてください。
- ・文学作品、新聞、言葉や文化について書かれた書物を読んで、思考を深めたり広げたりして、多様な価値観を尊重する態度を養ってください。
- ・周辺領域の考え方や理論と関連付けながら、日本語と日本文学を中心とする学修の拡充と深化を図るために、高等学校等での外国語の学習にも意識的に取り組んでください。
- ・その他の教科・科目においても、広い知識を身につけようとする積極性と、常に問題意識を持ち、解決しようとする態度を養ってください。

美術学科の入学者の受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

教育の理念・目的と求める学生像

美術学科の教育理念は、美術における専門家として持続的に創作活動に携わり、地域や社会の文化・芸術に寄与する人材を育成することにあります。

個々の学生の美に寄せる豊かな感性を尊重しながら、実技教育を通して専門的な知識・技術を獲得させること、また、学生が相互に切磋琢磨する機会を通して、芸術文化に関する幅広い視野を身につけさせることを目的とします。その上で、作家やデザイナーとして、あるいは美術教員や学芸員等として、持続的に美術に携わることのできる人材の育成を目指しています。

このような教育理念・目的に基づき、高等学校までの学習を通して培った理解力と思考力、美術の表現力を前提とした上で、美術学科は次のような人を求めています。

- ・豊かな発想や色感を持ち、構成力、描写力などの基礎的な造形力を持つ人
- ・本学で学修を進めるために必要な基本的な知識、理解力を持つ人
- ・自らの問題意識にしたがって考え、客観的な視点を持つ意欲のある人
- ・自らの感覚や思考を、美術表現や言葉によって他者に伝える意欲のある人
- ・主体性を持って学ぶ姿勢を持ち、多様な人々と協働して学ぶ意欲のある人
- ・将来的なビジョンを持ち、自らの創造性を高める意欲のある人

入学後の学びに必要な能力や適性等

美術学科の教育課程に適応するために必要な入学時の能力や適性等は以下の通りです。

（知識・技能）

- ①持続的な創作活動に必要な造形の知識・技術を修得するために、高等学校までに基礎的なデッサンや彩色の表現力を身につける必要があります。
- ②造形の知識・技術を活用する上で必要となる様々な考え方を修得するために、高等学校までに学ぶ幅広い教科・科目の知識と技能が必要です。

（思考力・判断力・表現力）

- ③自己表現の方向性を探究するために、高等学校までに自身の表現や適性などについて考え、伝える力を身につける必要があります。

（主体性・多様性・協働性）

- ④明確な目標を持ちながら、自らの創造性を高めるために、主体性を持って学ぶ態度、多様な人々と協働して学ぶ態度が必要です。

【美術学科】

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）
教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

詳細は [こちら](#) からご覧ください。



入学後の学びに必要な能力や適性等と入学者選抜における評価との対応

学力の3要素				知識・技能		思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
入学後の学びに必要な能力や適性等				①	②	③	④
入試区分、 検査等の内容（配点）	学校推薦型選抜	一般推薦	調査書「芸術（美術）・国語・地理歴史・外国語（英語）の4教科の内、3教科の「学習成績の状況」、及び美術の優れた能力（出願要件）」		○		
			実技試験（50点）	○		○	
			小論文（20点）			○	○
			面接（25点）			○	○
			調査書「指導上参考となる諸事項」（5点）				○
	一般選抜	前期	共通テスト（600点）		○	○	
			実技検査（900点）	○		○	
			学修計画書（50点）			○	○
			調査書「指導上参考となる諸事項」（20点）				○
		後期	共通テスト（300点）		○	○	
			実技検査（900点）	○		○	
			学修計画書（50点）			○	○
			調査書「指導上参考となる諸事項」（20点）				○
	留学生選抜 私費外国人		外国において、学校教育における12年の課程を修了またはこれに準ずる者（出願要件）」		○	○	
			日本留学試験（日本語、総合科目）（10点）		○	○	
			実技（40点）	○		○	
		小論文（20点）			○	○	
		面接（30点）			○	○	

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

- ・基礎的なデッサンや彩色の表現力を培うために、作品の数を積み重ねるだけでなく、質を高めるよう意識してください。
- ・モチーフとなる対象をしっかりと観察し、形を正確に捉えることに加え、質感の表現などにも注意を払ってみてください。
- ・制作を通じて、自身の興味・関心のあるものを探していくことを意識してください。
- ・感性を高めるために、展覧会などを訪れて実物に触れることを意識してください。
- ・作品や自身の表現について他者と対話する機会を設け、多様な価値観に触れてください。
- ・実技に関わるだけでなく、美術以外の科目の学習にも意識的に取り組んでください。

尾道市立大学 入学試験実施本部

〒722-8506 広島県尾道市久山田町1600番地2
TEL 0848-22-8311 (代表)
0848-22-8381 (直通)
FAX 0848-22-5460
(受付時間 平日9:00 ~ 17:00)
ホームページ <https://www.onomichi-u.ac.jp/>